かしこく　やさしく　たくましく　　国際感覚を身に付け，確かな学力と人間性を備えた児童生徒の育成

めざせ！南十字星

笑顔があふれ、しあわせを感じられる学校

学 校 便 り
令和６年９月国際交流特集号
ヨハネスブルグ日本人学校

「グリーンサイド小学校」との国際交流(第４回)を行いました！

９月 13 日に、JSJ から車で 10 分ほどの場所にあるグリーンサイド小学校(Greenside Primary school)と国際交流を行いました。開会式では、全校児童生徒が一堂に中庭に集まっている中、代表児童が挨拶しました。今回の交流のテーマとして、大変ありがたいことに、ヘリテージデー（Heritage Day）と関係づけ、それぞれの人種や民族の言葉での挨拶を披露してくれました。実は、子供たちが民族衣装を可能な限り身に付けてくれるよう、事前に周知して下さっていました。

ご存じのように、ヘリテイジデーは、南アフリカで毎年９月 24 日に祝われる祝日で、南アフリカの多様な文化遺産を祝う日として制定されています。「虹の国」として知られ、多様な文化や伝統をもつ国であり、すべての南アフリカ人が自分たちの文化や信念を誇りに思い、互いの違いを尊重する日となっています。南アという国の特色を代表する祝日についても詳しく学べたとてもうれしい国際交流の日となりました。

全員で「ヨハネスソーラン」を披露し、会場の全員で再度踊り、大盛り上がりとなりました。その後、それぞれ同学年の学級に、一人ずつ２時間の授業を受けました。大勢を前にしたスピーチや英語の授業を一人ぼっちで受けることに緊張もあるのではないかと心配しましたが、堂々としたスピーチや英語での授業のやり取りに動じずに子供たち全員が活躍していました。

「ＥＣの時間」で「英会話力」の習熟を図っており、英語でのコミュニケーションに自信を深めることができた子供たちも多くいました。日本に対して興味を持っている子も多く、スナックタイムでは、漫画やアニメなどの会話も弾んでいました。

現地校との文化交流を通じて得られるスキルや価値観は多岐にわたります。改めてお伝えする必要もないのですが、いくつかの視点を纏めてみました。

まず、 異なる文化背景をもつ人々との交流を通じて、他の文化の価値観や信念、慣習を理解するスキルが身につきます。彼らにとって、将来に向けてかけがえない財産となります。

次に、日本語と英語、その他の言語との違いを理解することで、その場に応じたコミュニケーションスキルが養われています。南アには、多くの言語が存在していることからも多くの言葉を覚えている子供たちも多くいます。

さらに、異なる文化や価値観に触れることで、柔軟な思考や適応力が身につきます。これらの貴重な経験は、これからの新しい環境や状況に対しても柔軟に対応できるようになるきっかけとなるでしょう。

今後も安全面に十分な配慮をしながら、国際交流を続けていくこと、交流を重ねていくことに大きな意義があることを痛感しています。国際交流のもつ意義と同時に、子供たちにとって忘れることができない貴重な経験となっていることを実感し、次年度もお互いに交流が続けられることを心から願うばかりです。